

『英語で物理の出張授業！』～

小石川中等教育学校にて

2008年7月11日（金）

於 東京都立小石川中等教育学校 合同会社 PTM



去る7月11日、東京文京区にある小石川中等教育学校にお邪魔してまいりました。というのも「英語で物理の授業」を実施するためです。そして対象はなんと中学3年生！

英語だけで通す授業だけでも「難しそう」。そして内容も物理。さらに対象は中学3年生。聞いただけでも「めまいがする」と大人の皆さんからの声が出てきそうです。ですが、大変意義深いお話を頂き、PTMも意気揚々と現場に向かったのです。



全員でオーストラリアへ

今回授業を受ける皆さんは海外語学研修へ旅立つ予定の中学3年生。なんと全員でオーストラリアへ出発です。母体となっている小石川高校は文科省より”Super Science High School”に指定をされていて、理数の科目を英語で実施するという進んだ学校です。そしてここ4年、ポーランドの国際物理学研究コンテストに英語の論文で応募。4年連続入賞を果たしています。

そうした学校と聞き、「どんな生徒さんたちなのだろう？」と「期待」×「緊張」のPTMの先生たちでした。しかし教室に集まったのは、大変明るく、積極的なすばらしい生徒さんたちでした。



ミニカーで実験

今回の授業は「加速度について」。

物理 = Physicsの世界では避けては通れない、重要な項目。そしてそれを英語で「聞いて」「実験して」「確かめよう」というのが目的です。

英語で授業スタート。

学生達をまとめているのは望月先生。もう既に生徒達は望月先生や他の先生方から英語で授

業を受けるのには慣れている様子。先生方からの指示をよく聞いています。

PTM からはマック先生とヒデ先生が参上！生徒達へ、「今日のテーマ」「目的」「やり方」などをどんどん英語で話していきます。

先生達も中に入って。

生徒さんたちも始めは「？」と思って戸惑っていた様子。サポートがいきそうなグループには先生方が中に入って細かいアドバイス。生徒達も自分の英語で果敢に質問しています。



また今回の海外研修を担当している ISS 国際交流センター中山氏も生徒達に”Speak up! Speak up!” とハッパをかけます。外は暑いけれど中も「熱く」授業が進みます。



一度理解すると後は速い！テキパキと計測が進行します。

あっという間ですが、「実験スタート」「分担決定」「計測」「記録」「終了」まで英語で全部通してやりきりました。

明るくチャレンジした生徒さん暑い夏の日チャレンジ。充実感と笑顔。
ぜひこの経験が海外研修などで生きれば！と願い、校舎をあとにしました。

(平成 20 年 7 月 11 日 実施協力 ISS 国際交流センター様)